

気をつけよう、冬の流行感染症

鶴川リハビリテーション病院
病院長 新井基央

インフルエンザ

インフルエンザは、インフルエンザウイルスによって起こるウイルス性呼吸器感染症です。A・B・C型ウイルスがありますが、臨床的に問題になるのはA型（Aソ連型とA香港型）とB型です。

症状 ▶ 1～3日の潜伏期を経て、悪寒を伴う高熱・全身倦怠感を伴って急激に発症します。鼻汁、咳、咽頭痛などの呼吸器症状や、吐き気、嘔吐、下痢などの消化器症状や頭痛、関節痛も現れます。乳幼児は重症化しやすく、熱性けいれん、細菌性の肺炎や中耳炎の合併がみられることがあります。**合併症がない場合は、1週間～10日以内で軽快します。**

検査 ▶ 咽頭ぬぐい液や鼻汁を用いた、インフルエンザ抗原検出キットで10～15分で判定できます。

治療 ▶ 対症療法が主体で、アセトアミノフェン（カロナール）などの解熱剤、鎮咳去痰薬、整腸薬などを用います。特異的な治療薬としては抗ウイルス薬があります。経口薬としてはオセルタミビル（タミフル）、吸入薬としてはザナビル（リレンザ）、ラニラミビル（イナビル）、注射薬としてはペラミビル（ラピアクタ）があります。

予防 ▶ 不活化インフルエンザワクチンの皮下接種が行なわれています。

発症後の対応 ▶ 飛沫によって他人に感染するので、発熱などの主要症状がなくなるまで登校や出社は停止します。熱がさがったあとも、最低2日間は自宅療養が必要です。

予防接種について

鶴川記念病院では1月31日までインフルエンザワクチンの接種を行なっております。詳細はホームページをご覧くださいか、お電話にてお問合せください(044-987-1311)。

ノロウイルス

ノロウイルスは、11月～1月に流行する感染性胃腸炎の原因となるウイルスです。ヒトの手指、吐物、ふん便や食品、食器を介して感染し、嘔吐、下痢、腹痛などの症状を引き起こします。ワクチンはなく、高齢者や子供では肺炎などの合併症で重症化することもあります。

感染経路 ▶ 感染者のふん便や吐物の手指を介しての接触感染、吐物から舞い上がったウイルスの飛沫感染、感染したヒトが調理した食品・食器からの接触感染、生牡蠣などの食事、飲料水などがあります。

症状 ▶ 感染すると1～2日で発症。吐き気、嘔吐、下痢、腹痛などが引き起こされます。発熱があっても高熱にはなりません。1～2日で改善しますが、高齢者や子供では頻回の下痢で脱水になることもあります。

検査 ▶ 酵素抗体法やイムノクロマト法で迅速診断が可能です。

治療 ▶ 抗ウイルス薬はないため対症療法をおこないます。制吐剤や止痢剤（ビオフェルミンなど）。脱水があるときは輸液（点滴）を行います。

感染予防対策 ▶ 以下の方法があります。

- ・帰宅時、トイレ後、調理前、食事前の手洗い。ドアノブ、手すり、トイレの消毒。
- ・嘔吐物の正しい処理→マスク、ビニール手袋、ビニールエプロン、キッチンペーパー、ビニール袋、
- ・次亜塩素酸ナトリウム溶液（塩素系漂白剤）などを用いて、乾燥させないようにすばやく処理をします。
- ・食事はなるべく火を通すこと。
- ・などに気をつけましょう。



ほ、えみ 新春

平成30年 冬 53号



病棟談話室のデコレーション

リハビリ科主催 クリスマス会

クリスマス会でリース作り

患者さま合同制作の貼り絵

平成29年 冬号のトピック

- 🌸 専門外来特集 & 体験記
～糖尿病外来～
～SAS(睡眠時無呼吸症候群)外来～
- 🌸 感染症について
～冬に流行する感染症～
- 🌸 デイサービス三輪だより

編集後記と今号の見どころ

あけましておめでとうございます。
今回は昨年から始まりました睡眠時無呼吸症候群外来(SAS外来)と糖尿病外来について特集しています。睡眠時無呼吸症候群外来の特集では、職員による体験記も載せていますので、ぜひご覧ください。裏表紙には、鶴川リハビリテーション病院の医師が感染症について記事を書いています。寒く乾燥した日々が続きますので、ぜひ参考にしてみてください。新しい一年の始まりです。皆様、お身体ご自愛くださいませ。そして、2018年も皆様にとって素敵な年になりますように。

🌸 ほほえみ編集委員(お問い合わせは 044-987-1312まで)

医療法人社団 三医会

鶴川記念病院	TEL:044-987-1311	ひまわり総合支援室	TEL:044-322-8296
鶴川リハビリテーション病院	TEL:044-988-2322	【訪問看護ステーション】	
在宅支援室	TEL:044-980-1305	鶴川ひまわり	TEL:044-987-6969
健診部(院内)	TEL:044-987-9716	長沢ひまわり	TEL:044-977-9674
健診部(出張)	TEL:044-322-9152	デイサービス三輪	TEL:044-980-3939



年末年始の診療日のご案内

12月30日(土)午後より、1月3日(水)まで休診となります。
年始は、1月4日(木)より通常通りの診療開始となります。
なお、鶴川駅・長津田駅からの病院送迎バスは休診中も通常通り運行いたしますが、三輪巡回バスは休診中は運行いたしませんのでご注意ください。

睡眠時無呼吸症候群(SAS)外来を開設しています

睡眠時無呼吸症候群(SAS)とは、睡眠中に呼吸が止まった状態が断続的に繰り返され、日常生活に支障を引き起こす病気です。

「いびきをかく」「熟睡感が得られない」「昼間に眠気で困ることがある」などの心あたりがある方は、是非一度お問い合わせください。

受診のながれ

来院 (問診・診察など)

簡易検査 (簡易終夜睡眠ポリオグラフィー)
※ご自宅で一晩装着で可能な検査となります。

外来受診 (今後の治療方針のご説明)

治療開始 (CPAP 導入)

※CPAP…経鼻的持続陽圧呼吸装置。ご自宅での治療に使用します。



SAS体験記

実際にSAS外来を受診した職員の実験記をご紹介します！

私も家族から「いびきがうるさい！」といわれること数年、院内のポスターに書いてあるチェック項目にほぼ当てはまったので受診しました。検査は簡単に家でできる事前検査を行った後、数値が高い(リスクの高い)人がその後の精密な検査に進みます。精密な検査を行なった結果、私は無呼吸の頻度や一回当たりの呼吸停止が長かったことから、CPAP(シーパップ)という治療のための装置を導入することになりました。最初のうちは慣れなくて外してしまうことも多かったですが、機械の操作も必要ないため環境に2週間ほどで慣れてしまい、**今では朝までグッスリです。**

1カ月に1回の定期受診で新井Drにも経過が良好であることを伺いました。今後も続けていこうと思います！



鶴川記念病院
ひまわり総合支援室 佐藤真吾さん



簡易検査のようす。
自宅で就寝する前に装置を
つけます。



CPAP療法のイメージ。
就寝時に装置から空気を送り、
気道がふさがらないようにします。

ご予約・お問合せ

044-988-2322

鶴川リハビリテーション病院

完全予約制

お電話にてご予約ください

糖尿病外来のご案内

糖尿病は、進行すると糖尿病自体が悪化するばかりか、様々な合併症を引き起こすことが知られており、放置せず血糖値をコントロールすることが重要となります。血糖値・ヘモグロビンA1C値が気になる方から、専門的な治療を希望する方まで、まずは一度、当院の専門医にご相談ください。

当院の特色

診断基準となる「^{ヘモグロビン}HbA1c値」の迅速な測定ができます。診察当日に検査結果のご説明が可能です。

食事指導からインスリン導入まで、患者様に合わせたオーダーメイドの治療を行います。

ご高齢の方の日常の血糖管理のご相談や、発熱時のご相談などもおまかせください。

診療日

毎週 火曜日 午後
(受付13:30~16:45)

完全予約制

担当医



日本糖尿病学会専門医
日本内科学会認定医

近藤 朗彦 医師

このような方が
対象になります！

健康診断で血糖値を指摘されたが、
どうしたらいいかわからない…

食事について
指導を受けたい

血糖コントロールを
必要とする方

高齢だが、
インスリンの
持続導入が必要と
言われた方

家族に糖尿病の
人がいるので
自分も気になる



ご予約
お問合せ

☎ 044-987-1311

鶴川記念病院

完全予約制ですので、お電話にてお問合せください
予約受付時間：月~土 9時00分 - 17時00分

デイサービス三輪だより

11月19日(日)に毎年恒例のバザーを開催いたしました。ミニゲームコーナーや看護師さんの相談コーナーも盛況で、とてもにぎやかな一日となりました~！バザーの収益金は利用者様のソファ購入等、利用者様とご家族のために使用させていただきます。

